

News

国庫金の電子納付化を支援するソフトウェアパッケージ「MPN通信サーバ」

[PRESS RELEASE]

平成14年12月4日
株式会社富士通アドバンスソリューションズ

国庫金の電子納付化を支援するソフトウェアパッケージ「MPN通信サーバ」

株式会社富士通アドバンスソリューションズ(代表取締役社長 :長谷川 展久、本社 :神奈川県横浜 FASOL)は、平成16年1月から運用開始予定の「国庫金の電子納付^{*1}」の実現を支援するためソフトウェアパッケージ「MPN^{*2}通信サーバ」を、12月2日から提供開始いたしました。

金融機関と収納機関^{*3}をネットワークで結ぶマルチペイメントシステムの実現により、お客様は金窓口のほか、ATM・電話・パソコン・モバイル端末等を利用して「いつでも」「どこからでも」公共料:できるようになります。さらに、収納機関からお客様に郵送されている請求書を、携帯電話に通知でなり、新しいサービスが提供されます。

今回ご提供する「MPN通信サーバ」は、J.A.M.P.A.^{*4}が規定する仕様に基づき、MPNと金融機関・収納機関の基幹システムとの接続制御を行う機能を実現する、ソフトウェアパッケージです。2002年10月日本銀行の調査(電子化への対応予定)によると、歳入事務取扱金融機関の82%が平成16年1月1日開始を予定しており、FASOLは発売初年度に約30の金融機関への納入を目指します。本ソフトウェアパッケージの販売は、富士通株式会社が行います。

「MPN通信サーバ」の特長

1. パッケージの適用で、基幹システムへの影響が最小限

MPNと金融機関/収納機関の基幹システムを連携させるための機能、例えばMPNから要求されたサービスに合わせて基幹システムへの処理振り分けをするフロー制御や、MPNからの電文を基幹システムに合わせてコード変換する等は、全てパッケージが行うので基幹システムの改造が最小限で通信サーバの構築が可能です。

2. 新サービスへも柔軟に対応

平成16年1月に、国庫金電子納付の中の「収納サービス」が優先的に運用開始されます。以降、順次拡張が予定されている新サービスへの対応も、オプションで提供する各種アダプタを追加することで、容易に対応することができます。

3. 構築から運用までの木目細やかなトータルサポートも提供

お客様の要望に合わせた個別仕様対応やテスト支援、Q/Aサービス等、通信サーバシステムの構築から実運用に至るまで、トータルで木目細やかなサービスもご提供いたします。

製品体系】

J.A.M.P.A.が規定するサービスに適用するパッケージは以下のとおりです。

J.A.M.P.A.が規定するサービス		適用パッケージ
収納サービス (平成16年1月開始)	オンライン方式 情報リンク方式	MPN通信サーバ基本
	一括伝送方式	MPN通信サーバファイル転送
口座振替受付サービス	金融機関受付方式	MPN通信サーバファイル転送
	収納機関受付方式	1
口座振替データ伝送サービス		MPN通信サーバファイル転送
請求書情報通知サービス		J.A.M.P.A.仕様が未確定のため、未対応。

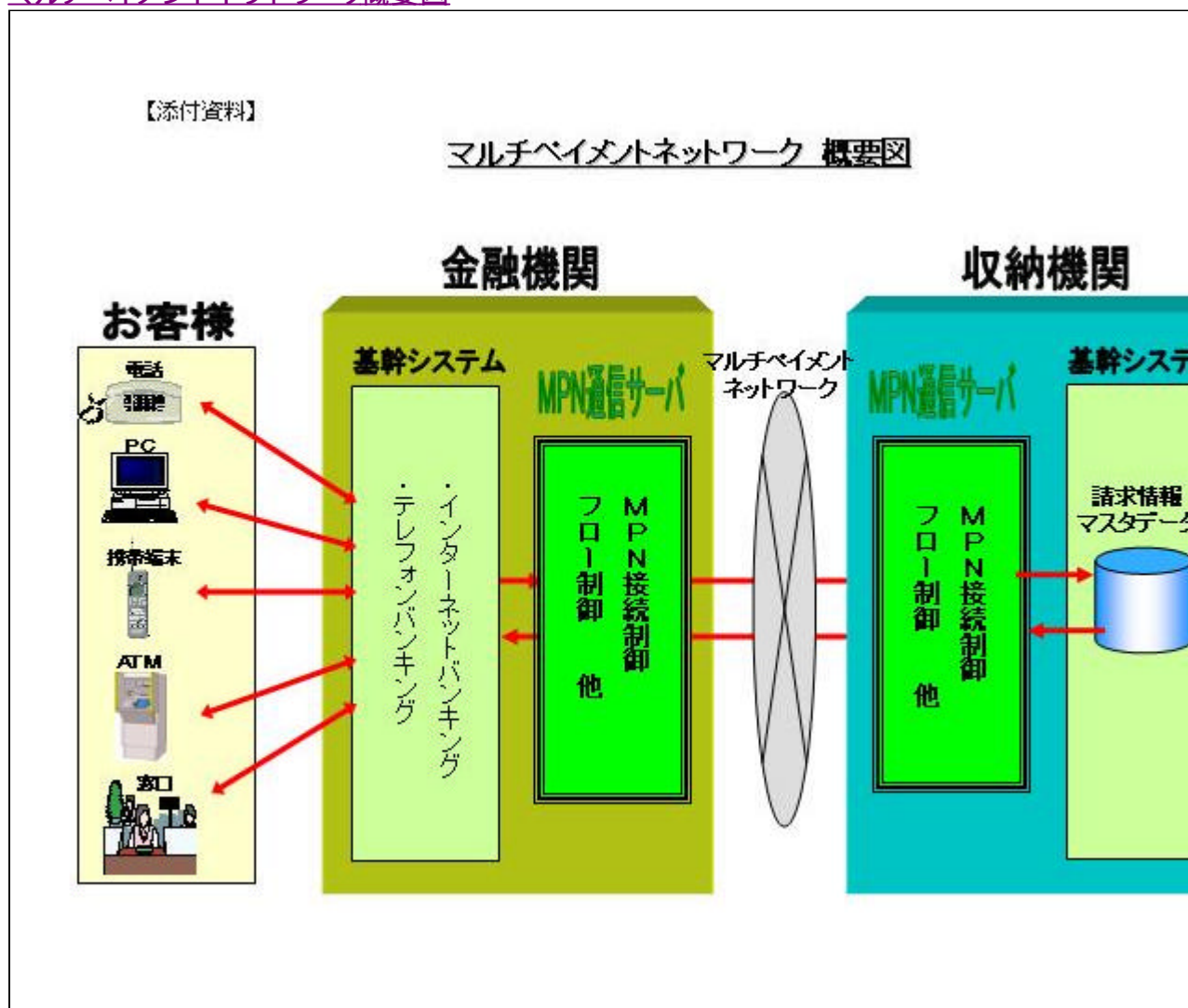
1:MPN連携を行わないため、該当製品なし

【販売価格】

MPN通信サーバ基本 1,750万円 ~

【添付資料】

[マルチペイメントネットワーク概要図](#)



【用語説明】

*1 国庫金の電子納付

所得税、社会保険料など国庫金の納付を、ネットワークを通じて電子的に行うこと。

- *2 MPN(Multi Payment Network)
金融機関と収納機関を結び、料金・税金支払を行うためのネットワーク。
- *3 収納機関
料金・税金など収納を行う 官公庁、地方公共団体、ガスや電力会社などの企業。
- *4 J.A.M.P.A. (Japan Multi-Payment Network Promotion Association)
日本マルチペイメントネットワーク推進協議会。
公共料金、税金収納の電子化・効率化について、共同検討を図るために設立された
全国規模の団体。官公庁、地方公共団体、民間企業、金融機関などが参加。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、登録商標です。

お客様お問い合わせ先
システム本部 第四システム事業部第二システム部
電話 045-438-2078
homepage <http://support.fasol.jp>

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。